

No.114  
2013  
Autumn

Hachinohe  
Institute  
of  
Technology  
Press  
SOUKYU

# 蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication



## CONTENTS

### 八戸工業大学

- p2-3 工大祭・就職懇談会・卓球部リーグ戦優勝・あおぎん賞・コラボレーション企画
- p4-5 EVエコラン競技大会・木匠塾・オープンキャンパス・高校生のためのイベント・国際会議研究発表・文化財復元模型・アンケート調査
- p6-7 原子力学会・学生相談室講演会・教職員研修会・同窓生の集う会・公開講座・資格取得・受賞・入試日程・行事予定
- p8-9 **カラーページ**  
**わくわく!どきどき!さくらようちえん**

### 八戸工業大学第一高等学校

- p10-11 体育祭・ブチ高校生体験・全国高総体高総文・消防クラブ・避難訓練・就職試験対策・関東支部同窓祭・学年行事・玉掛け技能講習・エンジン解剖体験教室

### 八戸工業大学第二高等学校

- p12-13 日本の次世代リーダー養成塾・各種検定合格・ボランティア活動・ファッション甲子園・全国高総文・SC強歩・高大連携・美術コース秀作展

### さくら幼稚園

- p14-15 なかよしさい・卒園児からのメッセージ・ようちえんってこんなところ・とらんぼりん

- p16 理事会・評議員会報告

## 2013 工大祭 (10月12日・13日)

テーマ

### 「FIRST」～新たなる道へ～

10月12日・13日、第41回八戸工業大学学園祭「工大祭」が開催された。テーマは、「FIRST」。本学は昨年創立40周年を迎え、このテーマには新たな一歩を踏み出そうという願いが込められた。

今年が入場門がリニューアル。すがすがしい秋日和となったキャンパスには模擬店への呼び込みの声や笑い声があふれ、訪れた多くの人々は各学科の研究室公開や文化部の活動を紹介するコーナーを巡ったり、運動部の模擬店をのぞいたり、特設ステージでのパフォーマンスやプロのライブステージなどのイベントを楽しんでいた。



## 第2回学生と企業との就職懇談会開催

8月28日・29日の両日、本学教養棟大会議室において「第2回学生と企業との就職懇談会」(合同企業説明会)が開催されました。この2日間で、青森県はもとより広島県まで計66の企業と団体の参加を頂き、延べ95名の学生が直接企業の担当者から話を聞くことができました。本学の就職内定率は、9月末現在64.5%と昨年同期ベースで約10ポイント向上しており、堅調な求人企業数に加えて、学生の頑張りや教職員一丸となった就職支援対策も好結果に結びついていると考えています。

今回の就職懇談会では、本学の就職支援プログラム等の改善を目的として、参加した学生の印象や採用にあたって重視する点、これまで卒業生の採用実績のある企業に卒業生が身に付けている能力、身に付けて欲しい能力についてアンケート形式で調査を行いました。その結果、卒業生が身に付けている能力については、責任感・倫理感が最も高く、次いでコミュニケーション能力と課題解決能力となっていました。特に身に付けて欲しい能力のコミュニケーション能力については、継続的な能力向上が望まれます。本学では今後もこうした企業からの意見を参考に、きめ細かい就職支援の体制やプログラムの強化を進めていきたいと考えています。



学務部次長 阿波 稔 (土木建築工学科教授)

## 卓球部が秋季リーグ戦2連覇達成!!

8月27日～29日、花巻市総合体育館を会場に東北学生卓球連盟秋季リーグ戦兼全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)予選会が行われた。

本学卓球部は、春季リーグの準優勝の雪辱と秋季リーグの2連覇達成を掛け、練習時間を増やして大会に臨んだ。優勝奪還を狙う本学は東北福祉大に王手をかけられたが、1・2年生の頑張りで逆転し5戦全胜で優勝、連覇を成し遂げた。「故障者をカバーできる選手がいなかった。そのため選手起用だけでなくオーダーにも非常に苦労した。優勝はチームで勝ち取ったもの。選手達の成長を実感した。」と語る蛭名昭人監督。

リーグ戦後に行われた予選会のダブルスで柴田祐輔(電気電子システム学科3年/北海道・駒澤大附属苫小牧高)押切圭介(システム情報工学科2年/秋田・増田高)組と中村駿介(機械情報技術学科1年/青森・弘前実業高)相良友樹(機械情報技術学科1年/北海道・札幌龍谷学園)組、東北学生連盟推薦の吉野裕規(バイオ環境工学科3年/北海道・北見柏陽高)松浦善幸(システム情報工学科3年/福島・小野高)組の3組、シングルスで相良さんと中村さん、東北学生連盟推薦の吉野さんの3選手が予選を通過し、11月13日から尼崎市で開催される全日本大学総合卓球選手権大会への出場権を獲得した。





## 「あおぎん賞」受賞

10月1日、青森市の青森国際ホテルで行われた「あおぎん賞」の表彰式に、柳谷利通理事長と機械情報技術学科の浅川拓克助手が出席し、表彰を受けた。この賞は、青森銀行が1993年に創設した賞で、青森県内の産業や地域開発、文化などの振興に貢献した個人と団体を表彰しているものである。今年創立70周年を迎える同行は、これまでの「地域貢献分野」のほかに新事業に取り組む団体を対象とする「地域産業分野」を新たに設け、本学と八戸市のハード工業がこの分野で初の受賞者となった。受賞の対象となった本学の事業は、浅川助手が中心となって八戸市立市民病院救命救急センターと共同で取り組んでいる「移動型緊急手術室」で、ドクターカーで牽引する箱型トレーラーを用いた小型の手術室の実用化が、救命率の向上に繋がると期待されているものである。

本学園では、今回の受賞を大学のみならず第一高校、第二高校、さくら幼稚園を含めた学園全体の教育活動が評価されたものとして真摯に受け止め、頂戴しました高い評価に甘んじることなく、更なる社会の要請に応える人材の育成に努めて参ります。



## 感性デザイン学科のコラボレーション企画

### 〈潮観荘CGムービー制作〉

感性デザイン学科では、青森県立美術館から依頼を受け、種差海岸を含む地域が国立公園に指定されたことに合わせて行われた特別企画展「種差展」に使用するCGムービーを制作した。



このCGムービーは、大正から昭和初期に活躍した鳥瞰図画家吉田初三郎のアトリエ別荘「潮観荘」の再現である。かつて種差海岸に建っていたこの建物は昭和28年に焼失し、現在は若干の基礎部分しか残っていない。建物に関する資料は写真が数十点とスケッチのみで、建設当時の図面は残されていないという状況であった。過去に八戸工大一高の村井茂敏教諭がこの建物の模型を製作されており、今回はその時のデータをもとに建物モデルを作り上げた。学生4人との2ヶ月にわたる作業は、資料が少ないために困難を極めたが、最終的には6分間の建物の内外観を巡るムービーとして完成した。

今回のCGムービーの制作は、感性デザイン学科の授業の特徴の一つであるCADの知識と技術が活かせる機会となり、こうした成果が上げられたことは学科として大変意義のあることであった。

感性デザイン学科 宮腰 直幸 (准教授)

### 〈ジオラマ制作の現地視察〉

現在、感性デザイン学科では、大豆製品の製造と販売を行っている地元企業太子食品工業㈱からの依頼により、同社の日光工場に設置するジオラマの制作に取り組んでいる。日光工場には、製品の生産ばかりでなく同社の製品を紹介するコーナーが併設されており、このジオラマは同社の製品の質をアピールする上で重要な役割を果たすことが期待されている。

制作を前に、同学科の学生らがジオラマのテーマとなる北海道の大地で育てられた大豆であることを表現するために、北海道美瑛にある農場と日光の大豆製品工場の視察を行うことになり、北海道は8月末に日光は9月上旬に4名ずつ2組の学生が同地を訪れた。



北海道の視察では、美瑛を中心に富良野、旭川の自然や施設を見てまわり、畑一面に育つ大豆や美瑛の丘陵の美しさ、大雪山の雄大さを感じてきた。日光の視察では、工場で大豆製品の製造の仕組みを学び、名所の華厳の滝や中禅寺湖など日光の自然に直に触れることで、同社が製造している製品の質の高さを十分に認識することができた。今後は、視察の成果を構想に生かし、作業を進めていくことになっている。

## 2013電気自動車エコラン競技大会出場



9月7日・8日、宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGOで「2013電気自動車エコラン競技大会 in SUGO」が開催され、機械情報技術学科の野田英彦教授の研究室の学生

らが製作した電気自動車と動力研究部（部長 中川原史康：機械情報技術学科3年／青森・十和田工高）の電気自動車が出場した。

この競技は、小型バッテリーを搭載した手作りの電気自動車一周3.7kmのコースを周回し、2時間以内の周回数を競うもの。今回は、あいにくの雨模様の中での開催となった。参戦したチーム数は、31チーム。試合の結果は、野田研究室が総合14位だった。大学の部で過去2年連続優勝の動力研究部は、2周した時点でモーターにトラブルが発生し、止む無く途中棄権となった。次回の活躍に期待したい。

## 角館木匠塾に参加して



8月23日～29日、秋田県大仙市の温泉施設「花葉館」で催された「角館木匠塾」に、建築デザイン研究会（ADL）のメンバー10名で参加しました。この塾は、

大学生に木に関する文化や技術を学ばせることを目的に開催されているもので、今年は本学のほか日本大学と秋田県立大

学から参加した総勢60名で作業を行いました。

今回は、リノベーションと修復にチャレンジしました。リノベーションというのは、別の機能のあるものに作り直すという意味で、花葉館から「休憩所が足りない」「日影のある場所が欲しい」という要望を受けて、休憩施設として以前造られたCUBEという作品の側面に屋根のようなものを付け、新たにベンチ、デッキ、テーブルを作りました。期間中は雨の日が多く、作業が滞ることもありました。三大学で協力し合い無事完成させることができました。来年もぜひ参加して木匠塾を盛り上げていきたいと思っています。

土木建築工学科2年 扇田 優樹（青森・十和田工高）

## 大盛況！！オープンキャンパス2013 “きっとみつけるキミの未来”

「2013年夏のオープンキャンパス」が、7月14日・7月28日・9月1日の3回にわたって開催された。今年もイベントの企画や運営を学生らが担当し、工業大学ならではの「学科体験」、学生スタッフとフリートークを楽しむ「学生カフェ」、女子学生と本音で語り合う「ガールズトーク」、学科の特色を紹介する「学科ギャラリー」などが行われた。キャンパスは、3日間で500人を超える生徒と保護者で賑わい、終了後「スタッフの方が優しくて良かった」「学科体験が楽しかった。ぜひ入学したいです。」など好印象の声が多く寄せられた。（当日の様子は、本学HP「入試情報▶オープンキャンパス」に掲載）



【お知らせ】春のオープンキャンパスが、来年3月16日に開催されます。多くの方のご参加をお待ちしております。

## 高校生のためのイベント盛況（7月～9月実施分）

- (1)7月11日 インターンシップ（青森工高）
- (2)7月29日・30日 高校生のためのエンジン解剖体験教室
- (3)8月1日・2日 サマーサイエンスプログラム（八戸工大二高）
- (4)8月7日 SSH課題研究（三本木高）
- (5)8月9日 オープンキャンパス（青森県高等学校教育研究会商業部会）
- (6)8月19日～21日 三高スタディものづくり講座（三本木高）
- (7)8月21日 チーズ加工実習（百石高）
- (8)9月3日～5日 インターンシップ（八戸工高・南部工高）

- (9)9月11日 平成25年度1学年職業人と語る会（八戸北高）
- (10)9月19日 高大連携／課題研究（三沢商高）
- (11)9月30日 ラボ・インターンシップ（八戸北高）



## 国際会議「ASEM13」で研究発表

大学院工学研究科博士前期課程土木工学専攻  
中村 悠人（青森県出身）

9月9日から3日間、韓国の済州島国際コンベンションセンターで開催された国際会議「ASEM13」(Structural Engineering & Mechanics)に参加し、発表を行った。

国際会議ということで講演や発表は英語で行われ、私にとっては初めての経験だった。会議では、「Hydraulic experiment on Kesen-Bridge outflow by tsunami」(和文名:津波による気仙大橋流出に関する水理実験)について、本学での研究成果を発表した。内容は、東北地方太平洋沖地震で発生した津波によって被災した橋梁をモデルに、津波がどの

ように橋梁に作用するのか、また、形を変えることによってどのように結果が違ってくるのかを水路実験を行い、その実験結果や考察をまとめたものである。今回の最大の課題は英会話能力だったので、質疑応答で外国の研究者からの質問に答えられるのか不安だった。発表の方は、話すスピードが少し遅かったかもしれないが無事終わることができた。今度このような機会に恵まれた時には、今回の経験を糧に語学力を向上させ積極的に話したいと考えている。



大学院工学研究科博士前期課程土木工学専攻  
野添 重晃（青森県出身）

私は、9月7日から12日まで、韓国の済州島で行われた「ASEM13」(Structural Engineering & Mechanics)という国際会議に参加した。会場となった済州島の国際コンベンションセンターは、済州島の中でも観光の名所として有名で、とても大きく立派な建物だった。

今回会議に参加した研究者は約1000人で、様々な分野に分かれて研究発表が行われた。私は、「Earthquakes and Structures」という大きな分野の中のセッションで、地盤中の断層が地震によって活動した際に地表面にどのような影

響を及ぼすのかについて発表を行った。発表は練習通りに行うことができたが、質疑応答で二人の研究者から質問を受け、質問内容は理解できたのに言葉つまってしまい、周りの方から助けをもらうという少し苦い経験をした。質疑応答への準備をもっとしてくればよかったと後悔した。それでも発表後に感じた達成感は大きく有意義なものだった。特に研究面では、視野が広がったのを感じている。このような場への参加を後押しして下さった研究室の先生や後輩達に感謝しつつ、今後も研究に励んでいきたい。



## 津波で流出した「吉田家住宅」の復元模型を製作

土木建築工学科の月館敏栄教授の研究室の4年生を中心に今年6月から岩手県の指定文化財「吉田家住宅」の復元模型の製作に取り組んできました。



吉田家は、陸前高田市の気仙町に1802年に建てられた茅葺き屋根の曲屋で、地域住民に「大庄屋」という名で親しまれてきた建物でしたが、先の東日本大震災の大津波によって全壊し流出してしまいました。この模型製作は、地元の震災復興計画の一環で行われたものです。

復元模型は、建物だけでなく樹木や畑など外構も含めたもので、建物の土壁の質感や木材の色褪せが自然に見えるような紙を探したり、特徴のある茅葺き屋根に小箆を使って独特の厚みを出したり、試行錯誤の連続でした。外構も背後の山や道路まで再現しました。樹木は敷地内だけで30本以上あり、大きさや形もバラバラだったため、写真と見比べながら1本1本丁寧に作りました。山の斜面は等高線で地層を表現し、緑色の模型材料で森に見えるようにしました。模型は10月上旬に完成し、学園祭で披露しました。私たちの活動が復興に少しでも役立って欲しいと願っています。

土木建築工学科4年 濱道 詩織（青森・八戸工大二高）

## 災害公営住宅アンケート調査

東日本大震災から2年経ち、八戸市の多賀台団地の集会所完成をもって、八戸市が計画した災害公営住宅建設がすべて終了します。私が所属する月館敏栄研究室では、多賀台団地をはじめに市内4ヶ所の災害公営住宅に住民が入居したことを受け、鳥取大学の浅井秀子准教授と共同で、災害公営住宅の入居者を対象にアンケート調査（写真）を行いました。目的は、被災状況と公的支援のあり方を調査し、地域に即した防災計画に役立てようというものです。

集計結果を見ると、「入居生活で気になること」という質問には、「今後の生活を考えると不安である」「親しかった近所の人たちと離れてしまい寂しい」という回答が多く、周囲の住民や地域との関わりに不安を抱いている住民が多いことがわかりました。また、住宅の間取りに関しては、「部屋数や広さは十分である」「風除室・物置があるのがよい」という回答が多かったのですが、ポスト受けの場所や玄関先が階段になっていることなど、冬の季節の不安材料を挙げるなど、支援や住宅に関する課題が明らかになってきました。調査は集計と分析が終わった段階ですが、今後八戸地域の防災計画のお役に立てるよう、力を尽くしていきたいと思っています。



大学院工学研究科博士前期課程建築工学専攻  
秋山 由衣（青森県出身）

## 本学を会場に「日本原子力学会秋の大会」開催

9月3日～5日、本学を会場に日本原子力学会2013年秋の大会が開催された。全国から原子力技術の研究者・技術者など約1200人が参加し、学内に設けられた16の会場で764件の技術論文の発表や討論が活発に行われた。

初日に行われた特別講演「東北の復興に向けて」では、佐々木郁夫青森県副知事の挨拶の後、藤田成隆学長が本学の東北復興への取り組みについて講演し、続いてJAMSTECの東恒氏による「“ちきゅう”が探る八戸沖の海底資源」、首都大学の山崎雄氏による「活断層とはなにかー原子力における活断層の取り扱いー」、原子力安全推進協会の落合兼寛氏による「原子炉プラントの耐震性について（巨大地震を教訓として）」と題する講演がなされた。



また、福島第一原子力発電所事故関連・一般公開セッションで、近藤駿介原子力委員会委員長や更田豊志原子力規制委員会委員による原子力政策の在り方や安全確保のための新基準など、原子力の将来を見通す対応などについて討論が行われた。

2005年に続き2回目の開催となった本学での大会は、28名の学生アルバイトが運営をサポートし成功裏に終了した。

## 第13回八戸工業大学同窓生の集う会

10月5日、第13回八戸工業大学同窓生の集う会が、八戸グランドホテルを会場に開催され、同窓生と教職員を合わせ約110名が参加した。

今年度は白川直人前会長から福士信雄新会長（写真）に会長職のバトンが受け渡されることになり、福士新会長のもと更なる発展を期し各地から参加した同窓生らが親睦を深めた。会は終始和やかな雰囲気の中で行われ、最後に校歌を斉唱し散会となった。

### 平成25年度支部活動

北海道支部総会	7月13日／札幌市
関東支部総会	9月14日／東京都
東北支部総会	9月28日／仙台市
秋田支部総会	10月26日／秋田市
北海道支部道南部会総会	12月14日／函館市

## 学生相談室講演会

9月6日、学生相談室主催の講演会が本学AVホールで開催された。今回は講師に、青森県発達障害者支援センター発達障害サポートコーチの町田徳子氏と同就労担当支援員の銭谷誠氏を迎え、「発達障害とその対応について」をテーマに、発達障害者への理解と適切な支援や対応を学んだ。

初めに町田氏



が、発達障害とは何かについて解説し、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、PDD（広汎性発達障害）、LD（学習障害）の行動特性などを様々な事例を交えて紹介した。続いて銭谷氏が、発達障害者への教育現場での対応例や就労支援の取り組みなどについて解説し、参加した約60名の教職員は、終始真剣な表情で聞き入っていた。参加者からは、「発達障害への理解が深まった」「個々の特性を生かした支援をしていきたい」などの感想が寄せられた。



## 2013八戸工業大学公開講座

（11月以降の講座）

### ◇あべさとこりサイタル

感性の歌声 2013

日時 11月1日（金）14：30～16：00

場所 八戸工業大学AVホール

### ◇環境中の身近な生き物を調べよう

日時 11月9日（土）13：00～15：00

場所 青森県観光物産館アスパム（青森市）

### ◇環境中の身近な水を調べよう

日時 11月17日（日）10：00～12：00

場所 八戸工業大学バイオ環境工学科実験室

### ◇サイエンスカフェ in 秋田

日時 12月1日（日）13：00～16：00

場所 秋田市にぎわい交流館研修室（秋田市）

### ◇親子で作るクリスマスオブジェ

日時 12月7日（土）14：00～16：30

場所 八戸工業大学感性デザイン学科工芸実習室

※日程が変更になる場合があります。

詳細は本学HPをご覧ください。

## 平成25年度教職員研修会

8月6日、学校法人八戸工業大学の全教職員を対象にした平成25年度の教職員研修会が、本学教養棟講義室で開催された。

今年度は、本法人の顧問で公認会計士・税理士の森谷伊三男氏を講師に迎え、「大学再生のためのエンrollment・マネジメント」をテーマに講演会が催された。午前と午後の2回に分けて行われた研修には、柳谷利通理事長をはじめ法人、大学、第一高校、第二高校、さくら幼稚園から教職員約250名が参加し、2時間にわたる講演に熱心に耳を傾けた。

エンrollment・マネジメントとは、入学前から卒業後まで一貫して学生を支援し満足度を高めるシステム・



支援体制のことであり、森谷顧問はエンrollment・マネジメントについて、アメリカの実例を紹介し、次に日本の状況や具体的な事例を交えながらわかりやすく解説した。

最後に質疑応答が行われ、参加した教職員らはエンrollment・マネジメント手法を理解するとともに現状を再認識し、今後の仕事への意欲付けに繋がる研修会となった。

## 国語系資格試験合格者

### 日本語検定

(2級) 浪岡紘豊 (感性デザイン学科4年/青森・八戸工大  
一高) (3級) 福田若菜 (電気電子システム学科3年/青森・  
東奥学園高) 蛭子大成 (電気電子システム学科2年/青森・  
田名部高) 齋藤師 (電気電子システム学科1年/青森・青森  
東高) 白戸南緒子 (バイオ環境工学科2年/青森・三本木農高)  
伊藤大地 (土木建築工学科2年/岩手・花巻南高) 千葉明日  
香 (感性デザイン学科2年/青森・三沢高) (準3級) 武美里 (電  
気電子システム学科3年/青森・青森工高) 葛西康世 (土  
木建築工学科2年/青森・弘前工高) 田口健太郎 (土木建築工  
学科2年/秋田・十和田高) 山中裕也 (土木建築工学科2年  
/青森・青森工高) 森岡なるみ (感性デザイン学科3年/青  
森・八戸工大二高) 宇野春香 (感性デザイン学科2年/青森・  
八戸東高) 根岸莉紗子 (感性デザイン学科2年/青森・八戸  
工大二高) 畑中舞 (感性デザイン学科2年/青森・八戸東高)

### 漢字検定

(2級) 三浦慶乃 (バイオ環境工学科3年/青森・三沢高)  
山田拳輔 (バイオ環境工学科2年/青森・田名部高) 根岸莉  
紗子 (感性デザイン学科2年/青森・八戸工大二高)  
(準2級) 小澤崇 (機械情報技術学科3年/秋田・大館鳳  
鳴高) 工藤大聖 (機械情報技術学科3年/青森・弘前工高)  
中村智子 (バイオ環境工学科3年/青森・八戸工大二高) 齋  
藤師 (電気電子システム学科1年/青森・青森東高)

## 国家検定「2013年度前期技能検定試験」3級

機械保全・機械系保全作業3級(機械情報技術学科)

【4年】大和山勇太(青森・八戸工大一高) 小原慎也(岩手・  
一戸高) 畠館晃平(青森・八戸工高) 【3年】荒那由多(青森・  
八戸工大二高) 荒沢勇人(青森・八戸工高) 岩村和真(青森・  
八戸南高) 漆真下陽一(岩手・葛巻高) 川口凌(青森・八戸工高)  
久保田優樹(青森・八戸工大二高) 佐々木裕也(岩手・盛岡北高)  
嶋守拓真(青森・八戸工大一高) 杉浦大樹(北海道・帯広大谷高)  
立原拓実(青森・八戸工大一高) 中川原史康(青森・十和田工高)  
中川原湧登(青森・八戸西高) 野呂健太(青森・八戸工大二高)  
畠山雄大(岩手・大船渡東高) 林慎也(青森・八戸工大一高)  
馬嶋聖(岩手・釜石商工高) 栢尾英兒(青森・八戸工大一高)  
吉田修(北海道・富良野高) 吉田耕介(秋田・角館高) 【2年】  
天内薪(青森・木造高) 佐々木大介(青森・六戸高) 島脇大知(青  
森・八戸北高) 【1年】井澤芳樹(山形・山形明正高) 松坂裕人(青  
森・八戸東高)

## 平成25年度

## 第17回2級リビングスタイリスト資格試験

【合格者】感性デザイン学科:五十嵐七果(2年/青森・鯉ヶ  
沢高) 宇野春香(2年/青森・八戸東) 畑中舞(2年/青森・  
八戸東高) 姉帯愛莉(1年/岩手・福岡高) 蛭名佑惟(1年  
/青森・八戸工大一高) 田澤葉名子(1年/青森・大湊高)  
千葉智美(1年/秋田・秋田明德館高) 野添実咲(1年/青森・  
八戸南高) 深川馨(1年/青森・八戸工大一高) 前田奈々(1  
年/青森・木造高) 前田梨沙(1年/青森・八戸南高) 我妻  
しのぶ(1年/青森・むつ工高) 和田早紀子(1年/青森・  
八戸工大一高) 土木建築工学科:菊地麻美(3年/青森・弘  
前学院聖愛高)

## 佐々木崇徳講師

## 「青森県工業技術教育振興会賞」受賞

5月24日、電気電子システム学科の  
佐々木崇徳講師が、「青森県工業技術教  
育振興会賞」を受賞した。

表彰を行った(財)青森県工業技術教育  
振興会は昭和62年に八戸工業大学内に  
設立され、工業技術に関する研究及び高  
等教育の振興に貢献することを目的に  
様々な事業を実施している。平成24年度に制定されたこの賞  
は、工業技術の分野で貢献または活躍が期待される若手の優  
秀な研究者、教育者、技術者を表彰するもので、佐々木講師  
が初の受賞者2名の一人に選ばれた。

受賞の対象となった佐々木講師の研究テーマは、「衛星リ  
モートセンシング技術による新しい環境解析法の開発」。



## 平成26年度入試日程

### 工学部・感性デザイン学部

	クール	エントリーカード受付期間	面談日
A O入試	第2クール	平成25年11月18日(月) ～11月27日(水)	平成25年12月7日(土)
	第3クール	平成26年2月3日(月) ～2月12日(水)	平成26年2月21日(金)
	第4クール	平成26年3月3日(月) ～3月11日(火)	平成26年3月18日(火)
	入試区分	願書受付期間	試験日
指定校推薦入試		平成25年11月1日(金) ～11月6日(水)	平成25年11月16日(土)
公募制推薦入試 (国公立大併願可)	前期	平成25年11月1日(金) ～11月6日(水)	平成25年11月16日(土)
	後期	平成25年12月2日(月) ～12月16日(月)	平成25年12月25日(水)
専門高校入試※		平成26年1月6日(月) ～1月22日(水)	平成26年2月4日(火)
一般入試	前期※	平成26年1月6日(月) ～1月22日(水)	平成26年2月4日(火)
	後期	平成26年3月3日(月) ～3月11日(火)	平成26年3月19日(水)
センター利用入試	前期※	平成26年1月6日(月) ～1月31日(金)	平成26年1月18日(土)・ 19日(日)の大学入試セ ンター試験 (本学の個別試験は課さ ない)
	中期	平成26年2月3日(月) ～2月21日(金)	
	後期	平成26年3月3日(月) ～3月14日(金)	

※学業特待生選考試験を兼ねる

問合せ先(入試部入試課) Tel:0178-25-8000(直通)

## 行事予定 11月～1月

11月	16(土)	指定校推薦入試・公募制推薦入試前期
	23(土)	彩才祭(文化会主催)～24日(日)
12月	7(土)	A O入試
	12(木)	第3回学生と企業との就職懇談会～13日(金)
	21(土)	冬季休業開始
	25(水)	公募制推薦入試後期
1月	9(木)	冬季休業終了
	18(土)	大学入試センター試験～19日(日)
	21(火)	後期定期試験～28日(火)
	27(月)	編入・転入学試験(一般後期)
	28(火)	後期授業終了

# わくわく! どきどき!

み

ら

ら

よ

う

ち

え

ん



ケンパッ、ケンパッ、  
ケンケンパッ!



サッカーボール、  
はいどうぞ



ビヨン!!



ミニ大根、おいしそう♪  
サラダに入れてもらおうね



さくら幼稚園のさくらだよ。  
ピンク色、きれいだね



じゃーん、完成! きれいでしょ。



ペチュニアの花で色水遊びだよ。



裸足って、気持ちいいー!!

## ～勝負の時!! 君の心よ燃え上がれ～

8月30日、八戸東運動公園陸上競技場に於いて、第55回体育祭が行われた。台風の影響による天候が心配されたが、降っていた雨も上がり好天のもとで開催することができた。来賓や多くの保護者、地域の皆さんが見守る中、「勝負の時!! 君の心よ燃え上がれ」のスローガンのもと、各種目に熱戦が繰り広げられた。岩崎敬夫校長が飛び入り参加した競技では、校長の奮闘ぶりに拍手喝采が沸き起こった。校長がゴールすると生徒達が駆け寄ってきて胴上げするなど、大いに盛り上がった。成績は、青軍(普通科)の優勝、2位白軍(機械コース)、3位赤軍(情報・電気・電子通信コース)、4位黄軍(土木・建築コース)という結果だった。

# 第55回 体育祭



### フチ高校生体験



### 何が見えるんだ?体験入学

8月16日～19日の4日間にわたり、中学生を対象にした体験入学を実施し、約1000名の中学生と保護者に「ものづくり」の一端を体験していただいた。生徒達は、初めて「見る」「触る」実習機械におっかなびっくりだったが、慣れるにつれて面白さがわかり、高校生一日体験に満足した様子だった。

### 部活動体験・見学会

10月15日、部活動体験・見学会を開催した。高校生の部活動を見学したいという中学生や保護者の要望に応えるとともに、本校への理解を得ることを目的に毎年実施しているもので、今回で17回を数える。今年は247名の中学生と多くの保護者が参加した。どの部活動も和気あいあいとした中で、中学生が真剣に取り組んでいた。

### 全国高総体

～吹きわたれ 若人の風 北九州へ～

#### 女子の健闘光る

- レスリング
  - 男子 66kg級ベスト8 3年松橋拓巳
  - 女子 49kg級第3位 1年太田理奈
  - 60kg級第3位 1年榎本美鈴
- ソフトテニス
  - 男子 団体戦 1回戦敗退
  - 女子 団体戦 2回戦敗退
  - 個人戦 ベスト16
  - 3年アライ柚紀・3年乙供亜美
- 登山 第10位
- ウエイトリフティング 入賞ならず
- バスケットボール 1回戦敗退
- 自転車競技 予選敗退
- 水泳競技 男女共予選敗退

### 全国高総文

～長崎しおかぜ総文祭～

- 写真部門 3年安藤峻気
- ※昨年の青森県高総文において優秀賞に輝き、県の代表に選出され出場した。

### 消防クラブ ボランティア活動に参加

8月25日、消防クラブの生徒が、八戸市白銀地区の三嶋神社と市立白銀小学校で行われた八戸市総合防災訓練の避難所運営



に、災害ボランティアとして参加した。生徒達は真剣な態度で訓練に臨み、訓練後の白銀公民館での防災講習や応急給水講習にも熱心に取り組んでいた。

### 避難訓練

9月12日、避難訓練が行われた。食堂厨房から出火したという想定で、生徒900名が速やかに中庭に避難した。



その後、消防クラブの生徒による消火訓練と校舎3階から垂らした救助袋からの降下訓練が行われた。また、同日午後7時に志学寮の避難訓練も行われ、1階ポイラー室から出火という想定で、寮生31名が寮前駐車場に避難した。どちらも八戸東消防署員による講評を受け、無事訓練を終えた。

# 熱い夏

## 履歴書書き本番

今年も3年生にとって、熱い夏がやって来た。9月16日解禁の就職試験の準備が始まるからだ。青森労働局の発表によると、県内高校求人が昨年度の1.5倍と景気回復の兆しが見えてきているようである。しかし、職種によっては採用を狭めている企業もあるとのことで、相変わらず厳しい状況であることに変わりはない。夏休み返上で頑張っている3年生の奮闘に期待したい。



7月14日、星雲同窓会関東支部同窓祭が、東京銀座「白いばら」を会場に、約150名が参加して賑々しく開催された。2年ぶりに再会した同窓生らは笑顔で杯を傾け、互いに健康や近況を報告し合っていた。今年4月に社会人となった新会員が紹介されると、「よく来た。がんばれよ!」と激励を受けていた。イベントが始まると、会場は更に盛り上がりを見せ、盛会のうちに幕を閉じた。

### 1学年 ミニインターンシップ

10月10日、「職業の原点である家事を通して、その大切さを知ろう」をテーマに、ミニインターンシップを実施した。生徒達は、自らの計画に従い、炊事洗濯、風呂やトイレの掃除、ガラス磨き等の仕事を行い、実施後の感想文には、親の大変さ、ありがたさ、感謝の気持ち、家事の大変さが綴られていた。



### 2学年 職場体験実習

10月9日～11日、職場体験実習を行った。普通科は八戸工大においてキャンパスゼミナール、工業科は各企業、消防、自衛隊、ものづくりインターンシップに各々別れて行った。生徒達は現実の社会に触れて、仕事の厳しさ、楽しさ、その重要性を体感した3日間であった。



### 3学年 バス遠足

10月10日、新郷村にある「間木ノ平グリーンパーク」へバス遠足を実施した。前日まで台風の影響で雨風が強く実施が危ぶまれたが、当日は嘘のように晴れ渡り、絶好のバーベキュー日和となった。生徒達は慣れない手つきで炭を熾し、肉や焼きそばを豪快にほおぼっていた。どのグループからも笑い声や歓声が起こり、秋の1日を満喫していた。



### 玉掛け技能講習

7月23日～25日、本校中庭において玉掛け技能講習が行われた。この講習は、ワイヤーやチェーンなどを荷に掛け、荷を安全に運べるように、笛と手でクレーン運転手に合図を送るというものである。うだるような暑さに加えて、急に雨が降り出すという不安定な天候の中50名が受講した。最初は合図の声が小さかったり操作に戸惑っている生徒もいたが、無事全員合格することができた。



### 先生と生徒の「エンジン解剖体験教室」

7月29日・30日、八戸工大自動車工学センターにおいて、エンジン解剖体験教室が開催され、機械コース3年北城大和君、助川友太君と同コースの三塚心輝先生が参加した。実物の自動車エンジンの分解、洗浄、組立方法を学ぶとともに、地球環境問題や自動車工学の最新テクノロジーについて理解を深めた。



## 日本の次世代リーダー養成塾

この塾は、2004年に日本経団連会長を塾長として開塾し、今年で10回目となる。全国から意識の高い高校生が集まり、日本や世界を代表する学者・経済人の指導のもと2週間のプログラムを体験するものである。今年度は、7月26日～8月8日、グローバルアリーナ（福岡県宗像市）と佐賀県城戸崎少年自然の家（唐津市）において、開催された。

青森県推薦枠は10名で、例年多数の応募者の中から提出書類と面接によって参加者が決定されている。この難関を突破し本校から2名の生徒が選抜された。2名選抜は、本校を含め県内2校のみで私学では本校のみである。

### 参加生徒のレポートから（一部抜粋）

杉本浩一君（カレッジコース3年・大館中）

このリーダー塾を通して、他人の多くの考えと自分の根底にあるものを発見することができた。そして将来の夢に対して、よりビジョンをもつことができた。

附田真帆さん（カレッジコース1年・榎林中）

学んだことや、これから自分がやるべきこと、やろうと思っていることがいろいろあります。そのことを今は一生懸命やります。そして、自分が将来、活動するときの糧にしたいです。



## 二高のボランティア活動

### ～鮫・蕪島ボランティアガイド～

この活動は、八戸南高校が平成20年度に地元住民の要望に応える形で始めたものだが、南高校の閉校に伴い本校が引き継いだ。鮫地区及び蕪島周辺の歴史・自然・文化について学び、地域社会への貢献として外に向けて自らの学びを表現する活動を行うことを目的としている。第1回目の今年は、55名の生徒が3度の事前研修会を経て、8月4日、10日、11日の3日間ガイド活動に臨んだ。参加した生徒達は、初めは戸惑いを見せていたが仲間同士助け合いながら、約150組の観光客に鮫や蕪島のみならず三陸海岸も含めた観光ガイドを行い、参加者同士、地域・社会それぞれとの繋がりを強めた。



### ～陸前高田ボランティア～

7月27日、美術コース生徒制作によるミニフレーム絵画を、陸前高田市第一中学校仮設住宅の方々に寄贈した。この機会を利用し、生徒自身の目で三陸沿岸部の市町村の現状を視察し、震災から2年後の復興の様子を確認する機会も持てた。現地では、それぞれ好みの作品を選んで頂き、生徒達は人々との交流を通して大津波を経験した住民らの声を聞き、思いを深くしていた。絵画を170点準備して持って行ったが、終了予定時刻を1時間ほど残して全ての作品が無くなるほどの盛況ぶりだった。



### 情報ビジネスコース

## 情報検定合格快挙

6月30日に第48回全国商業高等学校協会主催ビジネス文書検定、7月14日に第93回日本情報処理検定（表計算部門・データベース部門）が行われた。受験者は総勢100名を超える。今回は一般の受験者が非常に多く、ビジネス文書検定では受験者7名のうち4名が合格となった。

また、日本情報処理検定では受験者5名全員が合格となった。両検定とも2学年での合格者もあり、集中して検定講習に取り組んでいる姿が見られ好調な滑り出しとなった。

情報ビジネスコースでは、質の高い情報・ビジネスシステムの資格取得を目指し、「簿記を授業に取り入れる」「検定講習の機会を増やす」などの新たな取り組みを始めており、コース一丸となって、次の検定に向け勉強に励んでいる。

## ファッション甲子園 4年ぶりの出場 2013



8月25日、弘前市民センターにて「第13回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会」が行われ、小川未桜さん（美術コース3年・市川中）と水戸彩夏さん（同・泊中）の2人がチームで出場した。この大会は、全国3000作品の中から選ばれた35の作品が発表され、本校は4年ぶりの出場となった。作品のテーマは「DANGER GIRL（デンジャーガール）」で、キャンパス生地のジャケットに帽子をかぶり、手に長い爪を付けた手袋をはめ、恐竜の尻尾が付いたスカートに植物を巻き付けたデザイン。鬱蒼としたジャングルの中を探検する女の子を表現した。開会式では、参加者の代表として堂々と選手宣誓を行い、プレゼンテーションタイムでは、モデルを担当した小川さんが、表情豊かに全身で作品をアピールした。

**【かるた部門】**

8月2日～4日、長崎県立総合体育館で開催された小倉百人一首かるた部門に、石久保純香さん（カレッジコース3年・六ヶ所第二中）が、青森県代表として参加した。競技かるたは、一対一で行われる個人競技であるが、全国高総文では、1チーム5人が相手チームの5人と一対一で対戦して3人以上勝った方のチームを勝ちとする県対抗の団体戦で行われる。石久保さんは、5月に行われた県内の大会でベスト8に入り、見事県代表となった。

今年は、40都府県が参加し、予選リーグで、青森県は三重県・熊本県・埼玉県とのCブロックとなった。第1回戦三重県には4-1で勝ったが、第2回戦熊本県に1-4、第3回戦埼玉県に0-5で敗れて、トーナメント進出はなかった。個人成績は、第1回戦で相手チームの副将に勝ったが、第3回戦で敗れ一勝一敗であった。



**全国高総文**

2013

**長崎しおかぜ総文祭**

**【美術部門】**

7月31日～8月1日、長崎市で行われた美術工芸部門に、高成花織さん（美術コース3年・江陽中）の「横断」（日本画・F30号）、成田香月さん（同・十和田中）の「記憶」（油彩・F50号）の2点が出品された。2人は、昨年度の青森県高総文で上位に入賞し、全国大会に選出された。全国大会への出場は7年連続である。

7月31日に開会行事、講演会、講評会が行われた。講師は、長崎出身のアートディレクター伊藤敬生氏。含蓄のある解説と講評を聞くことが出来た。8月1日の交流会では、長崎県美術館で作品を鑑賞し、お互いの作品について意見を述べ合った。自分の作品を解説し、他の作品に質問をすることで、制作に対する思考が深まり、美術に対する見識を広める貴重な大会となった。



**カレッジコース SC 強歩**

10月5日、今年度2度目のスーパーカレッジ強歩が行われ、本校から階上岳山頂まで約25kmの行程を秋らしいさわやかな風を受けながら徒歩で往復した。このコースは、実際に歩いてみると道のりも長く、生徒達は山の急勾配に音を上げそうになるのをこらえ、一歩ずつ歩を進めていた。頂上にたどり着くと、生徒達は高みからの眺望に歓声をあげ、達成感と少しずつでも継続することの意

義をその身で実感していた。

また、下山途中のオートキャンプ場では、保護者の皆さんが炊き出し

の温かい豚汁を振舞ってくれ、多くの人に支えられていることを再確認する機会となった。



**高大連携 美術コース ～安斉将先生による特別講義～**

9月13日、美術コース全学年87名を対象に特別講義が行われた。講師は、八戸工大感性デザイン学科の非常勤講師でイラストレーターのアナキ先生。アナキ先生は現在十和田市に在住し、東京と往復しながら十和田市現代美術館のワークショップや展覧会など様々なアート活動を行っている。今回の講義では、作品をスライドで紹介しながら、イラストレーターという職業を選んだきっかけや仕事内容について詳しく説明していただいた。本校の美術コースでは、イラストレーターを目指している生徒が多く、皆熱心にメモを取っていた。今回の特別講義でイラストの原稿を直接観られたのは、大変貴重な経験であった。



**美術コース 第1回秀作展**

9月6日～8日、これまで授業で制作してきたデッサンを初め平面構成、絵画などの秀作44点を、八戸ポータルミュージアムはっち2階の「ギャラリー2」で展示した。会場には、段ボールの家など共同制作の立体作品も並べられ、様々な分野の基礎から応用まで多様な表現を紹介できる展覧会となった。

3日間の来場者数は500名を超え、多くの激励の言葉は、次回開催への大きな推進力となった。



# なかよしさい



りすさんと仲よし!! ハイチーズ



そーと、そーと!!

水ヨーヨー、もう少し。



空まで飛んでいけ~!



豚汁おいしいね! おなかいいっばい



年長組の作品  
「夏祭り」より

9月28日、なかよし祭が開催された。開場の時間になると子どもたちは、目指すコーナーに向かって駆け出していった。笑顔で待っていたのは、各コーナーの担当の役員、保護者、八戸工大の吹奏楽部の皆さん。作品の展示コーナーでは、自分の作品を家族に自慢げに見せる子、照れくさそうに見せる子、作品と一緒に写真を写したりしていた。園の内外に用意されたコーナーで思う存分遊び、綿あめや水ヨーヨーをもらってにこにこ顔の子どもたちは、心から満足したようだった。毎年、園名物の「豚汁」を目標てにやってくる卒園児がいる。在園児はもちろんだが、大きくなった卒園児の顔も見られ、私たち教職員にとっても楽しい一日だった。



卒園児からのメッセージ

私と幼稚園

7年前、私は元気いっぱい幼稚園へ通って、「おはようございます」と園長先生と握手し、みんなが待っている自分のクラスにワクワクしながら向かいました。友達と遊んだプリキュアごっこ、遠足や焼き芋会、クリスマス会などの行事も楽しい思い出です。その頃一緒に過ごした友達とは、小学校の入学時に別れてしまいましたが、中学校で再会することができました。久しぶりの懐かしい顔を見ると卒園アルバムで確認しては、翌日学校で「さくら幼稚

園だったでしょう？」と話かけることも楽しみの一つです。友達とはお互いそれぞれの目標を持ち、勉強や部活動に励んでいます。

小さい頃から動物が好きだったので、将来は、動物に携わる仕事をしたいと思っています。幼稚園で元気にのびのびと過ごせたお陰で、諦めず最後まで頑張ることを学びました。これからも夢に向かって頑張るので、見ていてください。



八戸市立東中学校1年  
村松 聖奈さん  
(平成18年度卒)

ようちえんってこんなところ



年長・サマーフェスタ

「皆で火花もしたよ。きれいだね。」



すいかわり大会

遠足 いちよう公園

「長〜い滑り台、楽しい〜!!」



「力を合わせてわったすいかは、おいしいね!!」

園児募集

満3歳児  
3歳児  
4歳児  
6歳児

園費受付(お申し込み) 11月1日より

- 完全給食
- 週園バスあり
- 預かり保育あり



とらんぽりん

～ある日の保育日誌～

満3歳いちご組 9月6日(金)

片栗粉に水を加え、両手で混ぜながら遊んだ。水を混ぜた片栗粉は握ると固くなり、少しすると指の間からどろりと滑り落ちる。その感触が楽しかったようで、おしゃべりもせず何度も繰り返して遊んでいた。その集中力に驚かされた。しかし、終わって手を洗わせようとすると、待ってられないでチョロチョロ逃げる。興味のあるなしで動きが全く異なる。それぞれの成長の様子を見ながら、集団生活のきまりが自然に身につくようにしていきたい。



「片栗粉遊びをしたよ。トロトロして不思議だね〜。」

年少組 9月9日(月)

夏休み中に会った祖父母の話をしてた子どもたち。敬老の日に向けて、おじいさんとおばあさんの絵を描くことを伝えると、「僕のおばあちゃん、メガネをかけていた」とそれぞれ思い出しながら描いていた。A君とB君は、祖父母の他にたくさんの丸を描いてその一つ一つに目や口を書き足し、自分の家族全員を描いていた。温かい気持ちが伝わってきた。

年中組 9月11日(水)

絵本室に絵本を借りに行った。以前は「これ、私も持つてよ」「お姉ちゃんが借りてきた」と、いろいろな本を見つけて夢中になっていただけだったが、半年経つと、「あっ！これ先生が読んでくれた本だよ」と友達に話かけたり、「ミッケ」のシリーズ本を順番に借りたり、それぞれに好みやこだわりが出てきた。読めなかったタイトルの文字が読めるようになった子に「やったあ。読めたねえ。」と声を掛けると、とても嬉しそうだった。



「じゃが芋が、こんなにたくさん採れたよ〜!!」

年長組 8月23日(金)

4月に植えたじゃが芋を収穫した。子どもたちは、「たくさん掘るぞ」「100個掘るんだ」などと意気込んでいた。畑に到着して掘り始めると、「あったあ!」「こっちにもあるよ」「大きいの見つけた」「わあ、ガイコツみたいな芋だ」などと言いながら、収穫する喜びと楽しさを味わっていた。目の前に畝があるのに、わざわざ後ろの子の畝を掘る子もいた。お土産の芋は「重い!」と言いながら嬉しそうに持ち帰った。



### 理事会・評議員会

学校法人八戸工業大学は、下記の通り理事会及び評議員会を開催して各案件について審議を行い、それぞれ原案通り承認された。

#### ◇9月2日 理事会・評議員会

- ・任期満了に伴う役員、評議員の選任に関する件

#### ◇9月20日 理事会

- ・任期満了に伴う理事長の選任に関する件
- ・任期満了に伴う常務理事の選任に関する件
- ・会長の選任に関する件
- ・八戸工業大学電気電子システム専門棟（渡廊下付）耐震補強工事に関する件

#### ◇10月18日 理事会

- ・学校法人八戸工業大学就業規則改正に関する件
- ・学校法人八戸工業大学「経費削減策」に関する件
- ・学校法人八戸工業大学「給与規程」改正に関する件
- ・学校法人八戸工業大学「退職手当支給規程」改正に関する件
- ・学校法人八戸工業大学「特任教員に関する規程」改正に関する件
- ・八戸工業大学「耐震補強工事」に関する件

表紙 さくら幼稚園 海浜保育（三陸復興国立公園指定「種差海岸」）  
 裏表紙 さくら幼稚園 年長組 久保田樹里ちゃんの作品  
 タイトル「おしゃれなくじゃく」